



荻の里

黒部市立荻生小学校

学校だより 1 号

平成 30 年 4 月 6 日

目指す子供の姿 **やさしく** **かしこく** **たくましく**

笑顔がいっぱいの 安心して学べる学校を目指して

校長 高岡 薫

校門に咲く「将就の桜」が満開を迎える中、いよいよ平成 30 年度が始まりました。

2 年生から 6 年生までのみなさん、進級おめでとうございます。

みなさんのいきいきとした表情や目の輝きから、進級した喜びや意気込みが伝わってきます。「委員会活動をがんばりたい」「漢字をしっかりと覚えたい」など、心の中はやりたいことや希望でいっぱいなのでしょう。この荻生小学校の長い歴史と伝統の中にある言葉「日に就き、月に将む（ひにつき、つきにすすむ）」にあるように、一日一日の努力を積み重ね、何事にもねばり強く取り組んでください。



さて、9 日には、20 名の 1 年生が入学してきます。ここにいるみなさんと合わせると、154 名になります。

私は、みなさんと一緒に「笑顔がいっぱいの 安心して学べる学校」をつくりたいと思います。みんなが笑顔になれる学校って、どんな学校でしょうか。みんなが安心して学べる学校とは、どんな学校でしょうか。

それは、「自分が困っているときに、『大丈夫だよ。がんばろう。』と励まし、支えてくれる友達がいる学校」「一人で少し寂しいなと思っているときに、『一緒に遊ぼう』と誘ってくれたり、自分の気持ちを分かってくれたりする友達がいる学校」「何かを手伝ってあげたときに、『ありがとう』と笑顔で答えてくれる友達がいる学校」です。

そう、それは、まさに『ぽかぽか言葉がいっぱいの学校』なのです。荻生小学校の児童玄関にこのぽかぽか言葉が掲示してあるのを見て、とてもうれしくなりました。これは、2 年生が 1 年生のときに考えた言葉ですね。（右の写真参照）



今日から、「笑顔がいっぱいの 安心して学べる荻生小学校」「ぽかぽか言葉がいっぱいの荻生小学校」を目指し、154 名のみなさんと先生方みんなで力を合わせ、心を合わせていきましょう。特に、6 年生のみなさん、この学校のリーダーとしてみんなの先頭に立ち、よりよい手本を示してほしいと思います。

それでは、全校の友達と先生方みんなで、平成 30 年度の第一歩を力強く、そして笑顔で踏み出しましょう。
(第 1 学期 始業式の話より)

始業式の朝、子供たちは、元気に登校してきました。「今日から学年が一つ上がるから、がんばってね」と、家の人からも励ましの言葉をかけてもらったのではないのでしょうか。今後は、「家庭からも安心して送り出してもらえる学校」に、そして、「家庭や地域から信頼される学校」を目指して、学校の教育活動を推進してまいりたいと存じます。この 1 年間、本校の教育活動にご理解・ご協力のほど、よろしくお願いします。

離任式・着任式を行いました — 4月5日（木） —

《離任教職員》大変お世話になりました

校 長 金三津 ひろみ（黒部市立たかせ小学校へ）
教 諭 笠 井 浩 信（黒部市立生地小学校へ）
教 諭 佐 渡 さやか（黒部市立宇奈月小学校へ）



お世話になった先生方に代表児童がお手紙を渡し、感謝の気持ちを伝えました

《着任教職員》よろしくお願いします

校 長 高 岡 薫（黒部市立桜井小学校より）
教 諭 岸 泉（黒部市立村椿小学校より）
教 諭 光 林 翠（黒部市立中央小学校より）

3名の教員が着任しました



家庭へのお願い

・登校を7時40分から7時55分までの間に

子供たちの登校時間を7時40分から55分までとします。お子さんの登校が早すぎると、安全上（校舎内、登校中の事故など）対処できないことがあります。ご家庭の事情もおありかと思いますが、ご協力をお願いいたします。

・黄色の安全帽をかぶり、防犯ブザーをつけて登校を

登下校中一番心配なのが、交通事故です。黄色の安全帽をかぶると、遠くからでもお子さんの存在が分かります。また、帽子をかぶることで子供自身が交通安全の大切さを意識してほしいと願っています。登校前に安全帽や防犯ブザー、名札の着用を確かめていただき、家の方からの温かい言葉で送り出してください。

〈春の全国交通安全運動〉4月6日～15日「春風に一緒にのせよう ゆとりとマナー」

学校だより『荻の里』を発行します。学校の方針、家庭へのお願い、子供たちの様子等を掲載いたします。学校の様子を知り、ご家庭での話題の一つにいただければ幸いです。合わせて荻生小学校のHP もご覧ください。「荻生小学校」で検索できます。